



スクールカウンセラー 岡本克己

## 「だから」と「でも」の選び方

ネットで検索したら、「だから」と「でも」は、接続語(つなぎことば)と呼ばれます。前の文と後ろの文を接続する働きを持っています。接続語の中にも種類があり、「だから」は順接の接続語で、「でも」は逆接の接続語に含まれます。順接の接続語では、接続語の後には当然の結果が続きますし、逆接の接続語の後には意外な結果が続きます。

例えば、「宿題してしまわないといけないなあ。」の後に、「だから」(順接の接続語)が付けば、「ゲームを止めて、宿題を始めよう。」と、当然の文が続きます。「宿題してしまわないといけないなあ。」の後に、「でも」(逆接の接続語)を付けると、「ゲームの方が面白いからまあいいか。」と、意外な結果になります。いやいや、ぼくにとっては「ゲームの方が面白いからまあいいか。」の方が、当然の結果だよというかもしれません。「でも」(逆接の接続語)「宿題してしまわないといけないなあ。」という考えに対しては、「ゲームの方が面白いからまあいいか。」は意外な結果です。

普段は意識せず、接続語を選んで行動していますが、その選び方によって、その後の行動は大きく影響されます。「宿題してしまわないといけないなあ。だから、ゲームを止めて、宿題を始めよう。」と考える方が、「宿題してしまわないといけないなあ。でも、ゲームの方が面白いからまあいいか。」と考えるより、宿題を始める可能性は高まるでしょう。

別な例を見てみましょう。「私って頭悪いなあ。」と考えた後に、「だから」(順接の接続語)を付けると、「試験はあきらめて、漫画を読もう」と、当然の結果にたどり着きます。ここで、逆接の接続語「でも」を選ぶと、「私って頭悪いなあ。でも、もう少し頑張ってみよう。」となるかもしれません。時と場合によって接続語の選び方が重要です。

さあ、どのタイミングでどちらを選ぶかはあなたの自由です。意識して接続語を選んでみましょう。



## スクールカウンセラー来校予定日

奥村先生…3日(金)・14日(火)・28日(火)

岡本先生…2日(木)・9日(木)・16日(木)・23日(木)・30日(木)

